安全データシート

東洋グリーン株式会社
作成日 2020 年 12 月 28 日
改訂日 2026 年 3 月 30 日

製品名　Humic DG(ヒューミック DG)

1．製品及び会社情報

対象物の名称

製品名	Humic DG (ヒューミック DG)
英名	HUMIC DG™ GREENS
社内 SDS 整理番号	202603H
製造元	
会社名	The Andersons, Inc.
住所	PO Box 119 Maumee, Ohio, USA 43537
電話番号	01+(419) 893-5050
発売元	
会社名	東洋グリーン株式会社
住所	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-33-8
電話番号	03-3249-7731
担当	毒物劇物取扱者

用途

本製品は、主に芝生地に用いられる地力増進資材である。

2．危険有害性の要約

ピクトグラム

注意喚起語　警告

危険有害性　H335　特定標的臓器毒性（単回ばく露）　区分 3　呼吸器への刺激のおそれ

注意書き	P261	粉じんの吸入を避けること。
	P271	屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
	P304+P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。
	P312	気分が悪い時は医師に連絡すること。
	P403+P233	換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。
	P405	施錠して保管すること。
	P501	内容物/容器を廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体に委託して処理する。

GHS による危険性・有害性の分類

① 危険性

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
酸化性ガス	分類対象外

高圧ガス	分類対象外	
引火性液体	分類対象外	
可燃性固体	区分に該当しない	
自己反応性化学品	分類対象外	
自然発火性液体	分類対象外	
自然発火性固体	区分に該当しない	
自己発熱性化学品	区分に該当しない	
水反応可燃性化学品	区分に該当しない	
酸化性液体	分類対象外	
酸化性固体	区分に該当しない	
有機過酸化物	区分に該当しない	
金属腐食性化学品	区分に該当しない	
鈍性化爆発物	区分に該当しない	
② 有害性		
急性毒性：経口	区分に該当しない	
急性毒性：経皮	分類できない	
急性毒性：吸入（気体）	分類できない	
急性毒性：吸入（蒸気）	分類できない	
急性毒性：吸入（粉塵）	分類できない	
急性毒性：吸入（ミスト）	分類できない	
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分に該当しない	
呼吸器感作性または皮膚感作性	分類できない	
生殖細胞変異原性	分類できない	
発がん性	区分に該当しない	
生殖毒性	分類できない	
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分 3	気道への刺激
特定標的臓器毒性（反復暴露）	分類できない	
誤えん有害性	分類できない	
③ 環境に対する有害性		
水生環境急性有害性（急性）	分類できない	
水生環境急性有害性（長期）	分類できない	
オゾン層への影響	分類できない	

３．組成および成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物	
一般名	地力増進資材	
成分名	**CAS 番号**	**含有量**
フミン酸粉末	1415-93-6	80～90%
リグノスルホン酸カルシウム	8061-52-7	10～20%%

４．応急措置

応急措置

吸入した場合　新鮮な空気のある場所に移し安静に努める。刺激が残る場合には医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合　石鹸及び水を用いて速やかに洗浄する。刺激が残る場合には医師の診断を受ける。衣服は再使用の前に洗うこと。

眼に入った場合　清浄な流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合、眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合　口をすすぎ、医師の診察を受けてください。意識があり、けいれんを起こしていない場合は、物質を希釈するためにコップ 1 杯の水を飲ませてください。決して吐かせないでください。

医師・救助者への注意事項　症状に応じた治療を行う。

５．火災時の措置

消火剤　粉末、泡、二酸化炭素、霧状水等周囲の物に適正な消火剤を用いる。特殊な消火剤は必要としない。

使ってはならない消火剤　棒状水を用いない。（周辺への飛散）

火災時の特定危険有害性　本製品は、分解温度まで加熱されると、有毒な酸化物・煙および硫化物を発生します。

消火を行う者の保護　消火作業では適切な保護具（陽圧式呼吸具、化学用保護衣、手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項　「８．暴露防止及び保護措置」記載の設備対策を行い、保護具を着用する。眼と皮膚に付着しないよう注意する。

環境に対する注意事項　河川、湖沼、地下水等に流入しないようにする。

除去方法　こぼれた製品を回収し、再利用のために保管する。
汚染された製品は回収し、適切に処分すること。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い　「８．暴露防止及び保護措置」記載の設備対策を行い、保護具を着用する。作業は換気の良い場所で行う。

安全取扱注意事項　局所換気、全体換気を行う。吸い込んだり、眼や皮膚、衣服に触れないよう十分注意する。
マスク、保護衣、保護靴、保護手袋、保護眼鏡等を着用する。
作業後は手を洗うこと。作業場での飲食、喫煙を避ける。本品は食用ではありません。

保管　**子供の手の届かない場所に保管してください。**

適切な保管条件　密封し、換気が良く、乾いた室内の冷暗所に保管する。
子供の手が届かぬようにすること。

８．暴露防止及び保護措置

許容濃度

日本産業衛生学会 2024	（製剤）設定されていない
厚生労働省告示	（製剤）設定されていない
OSHA PEL	（製剤）設定されていない
ACGIH TLV	（製剤）設定されていない

暴露限界　製品については既知の暴露限界はない

含有成分の暴露限界　非開示

曝露防止　室内で作業する場合は換気に努める。
シャワー、眼の洗浄設備を備えることが望ましい。

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じてマスクを着用する
眼の保護具	保護眼鏡（ゴーグル型）、保護面
皮膚及び身体の保護具	長袖保護衣、保護手袋、保護眼鏡を着用。

適切な衛生対策　取り扱い後は手を良く洗う。
汚染した衣服は他のものと別に洗濯する。

９．物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	黒色
臭い	わずかな土の匂い
融点/凝固点	該当しない
沸点又は初留点および沸騰範囲	約 100℃
可燃性	不燃性
爆発限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	不燃性
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	5.0-8.0
動粘性率	データなし
溶解度	可溶性
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	1.24g/cm^3
相対ガス密度	該当しない
粒子特性	該当しない
粘度	データなし

１０．安定性及び反応性

安定性	通常の使用条件、輸送条件で安定
避けるべき条件	高熱 酸化剤、強酸、強塩基。
危険有害分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、アンモニア、金属酸化物
他の物質との重合	データなし

１１．有害性情報

目、皮膚、鼻、喉、および気道に刺激を与える可能性があり、喉の痛み、咳、息切れ、脈拍や血圧の上昇を引き起こすことがあります。著しい過剰暴露は、重度の皮膚火傷・水疱、角膜潰瘍、失明、吐き気、嘔吐、頭痛、脱力感、めまい、および意識混濁を引き起こす可能性があります

急性毒性推定値（ATE）	製剤（経口）	データ不足により分類できない
	成分（経口）	302 mg/kg 以上（硝酸カルシウム）
	成分（経口）	5000 mg/kg 以上（ケイ酸カリウム）
	成分（経皮）	データ不足により分類できない
	成分（製剤）	データ不足により分類できない
局所効果		データ不足により分類できない
感作性		データ不足により分類できない
慢性毒性（最大無作用量）		データ不足により分類できない
発がん性		成分はいずれも既知/指定の発がん性物質ではない。
変異原性		データ不足により分類できない
催奇形性		データ不足により分類できない
生殖毒性		データ不足により分類できない
特定標的臓器毒性	単回暴露	データ不足により分類できない
特定標的臓器毒性	反復暴露	データ不足により分類できない
誤えん有害性		データ不足により分類できない

１２．環境影響情報

水生環境急性有害性　有害性は知られていない
水生環境慢性有害性　有害性は知られていない

EDTA および関連するキレート化合物は、土壌中を容易に溶出すると予想され、金属の土壌中での溶解度を高める可能性があります。

１３．廃棄上の注意

廃棄の方法

残余廃棄物　廃棄の前に可能な限り無害化、安定化および中和等の処理を行い危険有害性レベルを低い状態にする。
廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体に委託して処理する。

容器　容器は洗浄の上リサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する際は、内容物を完全に除去すること。

１４．輸送上の注意

国際規制

国連分類	該当しない
国連番号	該当しない
国際海上危険物規程	該当しない
国際民間航空機関危険物輸送規則	該当しない

国内規制　海上輸送、航空輸送に制限はない。

陸上輸送	消防法の規定に従う
航空法規則	該当しない
危険物船舶運送及び貯蔵規則	該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件　転倒､落下､摩擦等で包装が破損しないように積み込み､荷崩れ防止を確実に行い、有蓋車又はシート等を掛けて運搬する｡水濡れを避ける。
搬送中の事故等により災害が発生した場合は､消防その他関係機関に連絡すること

１５．適用法令

肥料法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
化審法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法	該当しない
毒物および劇物取締法	該当しない
環境基本法	該当しない
大気汚染防止法	該当しない
消防法	該当しない
航空法規則	該当しない
危険物船舶運送及び貯蔵規則	該当しない
輸出貿易管理令（キャッチオール規制）	該当しない
SOLAS 条約 （海上人命安全条約）	該当しない
SARA311/312 有害性分類	該当する　即時健康危害

１６．その他の情報

NFPA	全米防火協会レーティング	健康有害性	2
		可燃性	0
		有害性	0
HMIS	危険物識別システムレーティング	健康有害性	2
		可燃性	0
		物理的有害性	0

この安全データシートは製造元から提供された SDS を元に JIS7073（2019）に準拠して作成したものです。

安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考資料として、この化学製品を取り扱う事業者に提供されるものであり、安全を保障するものではありません。また、記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報および自社情報に基づいて作成しておりますが、本製品に関するすべての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は本製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取り扱う事業者は、個々の取扱いの実情に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用されることをお願い致します。

以上